

事業中評価チェックリスト

						番号	8
事業名	道路事業(改築)	路線・河川 ・地区等名	一般国道 344 号 やすだ 安田バイパス工区		施行 場所	かみやすだ かみのそね 酒田市上安田～上野曽根	
評価該当基準	事業中評価実施後 5 年間を経過した時点で継続中の事業 (山形県(県土整備部)公共事業評価実施要領 5-(1)-イ-(エ))					実施主体	山形県
事業採択年度 目標年度 [当初目標年度] (過年度評価時目標)	H27 R08 [R6] (R06)	全体事業費(進捗度%)	33.0 億円	(73.7%)	事業延長等	L=3,080m	
		内工事費	26.7 億円	(68.3%)			
		内用地・補償費	1.6 億円	(100%)	供用延長等	L=0m	
		内測試費等	4.7 億円				
事業の目的(地域性・特質性) - 一般国道 344 号は、酒田市中心部と旧八幡町、更には最上地方とを繋ぐ主要幹線道路であり、第 2 次緊急輸送道路となっている。 - しかし、集落内を通過する本工区は幅員狭小のため幹線道路としての十分な機能を有していないうえ、歩道もなく通学児童等が危険にさらされている状況である。 - その為、本事業にて集落北側に新たなバイパス道路を整備することで、幹線道路としての機能強化、集落内の生活環境向上を図るものである。							
事業概要(主要工事内容) バイパス整備 計画幅員 6.5(9.5)[12.0]m							
事業の実施状況 - H27 路線測量・地質調査・道路設計 - H28 用地測量 - H29 農業施設移設設計 - H30 用地買収・軟弱地盤解析 - H31 埋蔵文化財調査、軟弱地盤対策設計 - R2 埋蔵文化財調査、軟弱地盤対策工 - R3 埋蔵文化財調査、軟弱地盤対策工 - R4 軟弱地盤対策工 - R5 道路改良 - R6 道路改良							
上位計画、その他事業との関係(各上位計画で定めている項目を表すコード) - 第 4 次山形県総合発展計画 → 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成(5-2) - 山形県道路中期計画 2028 → 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進(施策⑦)							
今後の事業の見通し R05 までに軟弱地盤対策が完了済みで、今後は道路改良工事を推進し R08 年度の事業完了を目指す。							
事業をめぐる社会経済情勢等の変化 国、県の政策や計画の転換等 R2年3月:「第4次山形県総合発展計画」策定 H31 年 3 月:「山形県道路中期計画2028」策定(R6年3月改訂) 上記計画に位置付けられた施策や方針に基づき取り組む事業として推進している。 - 財政状況の変化 道路整備の事業費が減少している厳しい状況にあるが、「選択と集中」及び「効率的・効果的な事業の執行」により、投資効果の早期発現を図ることとしている。 - 事業実施地域の周辺環境の変化 周辺環境に大きな変化は見られない。 - 地元の協力体制の変化 地元協力体制は良好であり、早期の完成を要望されている。 - 利用者見込み者数の大幅な変化 想定交通量に大幅な変化はない。 - 代替方策による必要性の変化 用地をすべて取得済みであることから、代替方策はない。また、事業の必要性に変化はない。							
事業の投資効果 (凡例) ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果の例							
投資効果	●バイパス整備により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全が図られる。 ○物流の向上・救急医療機関へのアクセス向上が図られる。						
社会的割引率	B/C	B/Cの代表的 な分析指標		・総便益の現在価値 (B) 68.5 億円			
4%	1.9			・総費用(事業費+維持管理費) の現在価値 (C) 35.8 億円			
2%(参考値)	3.0						
1%(参考値)	3.8						
●コスト縮減・○代替案等の可能性 ● 載荷盛土材に他工事(直轄砂防工事)の発生土を流用し、現場内で転用しながら利用した後、撤去後は他工事(基盤整備工事)に流用することでコスト縮減に取り組んでいる。 ○ 用地取得および軟弱地盤対策が完了しており、計画的に進んでいることから代替案の可能性はない。							
当初又は前回評価時目標年より延長となる場合の理由(計画どおりの場合は空欄) ・ 着工後、電線管理者との協議したところ、当初計画どおりに載荷盛土工を実施すると、送電用鉄塔に影響があると判断されたため、軟弱地盤対策(中層混合処理)を実施することになった。その調査・設計および軟弱地盤対策(中層混合処理工)について、不測の2年を要したため。							
評価区分	継続A	評価の理由	工程精査の結果、目標年次に対し2年の遅れとなるが、事業の効果や重要性、地域の期待・協力を総合的に判断し継続としたい。				